

様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	東稲山 (駒形嶺)			
資産名	平泉			
調査周期	毎年 (年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内)			
所在地	平泉町 (大文字焼展望台)			
調査者	一関市教育委員会	調査年月日	平成 30 (西暦 2018) 年 11 月 1 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	なし		
	2			
	3			
	4			
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類 (ランク 1、ランク 2) ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
要因数	0 (± 0)			

写真添付欄 (阻害要因を○で囲みNo.を付すこと)



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	観自在王院跡			
資産名	観自在王院跡			
調査周期	毎年（年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内）			
所在地	平泉町平泉字志羅山地内			
調査者	平泉町	調査年月日	平成 3 0 年 1 1 月 8 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	大規模建築物	ランク 1	視界の中央で資産間の関係性を阻害（ホテル武蔵坊看板）
	2	鉄塔	ランク 1	視界に比較的大きく入り込み景観を阻害
	3	電柱	ランク 1	視界に比較的大きく入り込み景観を阻害
	4	一般住宅	ランク 2	視界に入り込みある程度景観を阻害
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類（ランク 1、ランク 2） ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況 左写真の仮設プレハブ（黄丸）は発掘調査に伴う仮設設置。現在撤去済。			
数 要 阻 害 因 害	4（±0）			

写真添付欄（阻害要因を○で囲みNo.を付すこと）



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	無量光院跡			
資産名	無量光院跡			
調査周期	毎年（年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内）			
所在地	平泉町平泉字花立地内			
調査者	平泉町	調査年月日	平成 3 0 年 1 1 月 8 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	鉄道	ランク 1	視界に比較的大きく入り込み資産の位置関係の把握を阻害
	2	鉄塔	ランク 1	山稜からはみ出して景観を阻害
	3	一般住宅	ランク 2	毛越寺方面の位置関係の把握を阻害
	4	大規模建築物	ランク 2	毛越寺方面の位置関係の把握を阻害
	5	電柱	ランク 2	視野に比較的大きく入り込み景観を阻害
	6	一般住宅	ランク 2	資産との間に位置し景観を阻害
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類（ランク 1、ランク 2） ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
数 要 阻 害 因 害	6（±0）			

写真添付欄（阻害要因を○で囲みNo.を付すこと）



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所				
資産名	柳之御所遺跡			
調査周期	毎年 (年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内)			
所在地				
調査者	岩手県	調査年月日	平成 31 年 1 月 18 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	鉄塔	ランク 1	視界に大きく入り込み、資産の位置関係の把握を阻害
	2	一般住宅	ランク 1	無量光院方面の見通しを阻害(中尊寺通りの一般住宅)
	3	電柱	ランク 1	視界に大きく入り込む
	4	鉄塔	ランク 1	山稜から上に大きくはみ出す
	5	鉄塔	ランク 2	山稜から上にはみ出す
	6	電柱	ランク 2	金色堂方面の見通しを阻害
	7	鉄塔	ランク 2	金色堂方面の見通しを阻害
8	鉄塔	ランク 2	金色堂方面の見通しを阻害	
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類 (ランク 1、ランク 2) ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
数 要 阻 害 因	8 (± 0)			

写真添付欄 (阻害要因を○で囲みNo.を付すこと)



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	達谷窟参拝者専用駐車場			
資産名	達谷窟			
調査周期	毎年（年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内）			
所在地	平泉町平泉字北沢地内			
調査者	平泉町	調査年月日	平成 3 0 年 1 1 月 8 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	自動販売機		野点
	2	フェンス		錆び
	3	倉庫		簡易建築
	4	電柱		色彩
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類（ランク 1、ランク 2） ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
数 要 阻 害 因 害	4（±0）			

写真添付欄（阻害要因を○で囲みNo.を付すこと）





様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	白鳥館遺跡付近（箱石橋）から中尊寺・平泉方向の眺望			
資産名	白鳥館遺跡			
調査周期	毎年（年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内）			
所在地	奥州市前沢区字鶴ノ木（箱石橋）			
調査者	奥州市世界遺産登録推進室	調査年月日	平成 30 年 12 月 6 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	なし		
	2			
	3			
	4			
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類（ランク 1、ランク 2） ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
要因数	0（±0）			

写真添付欄（阻害要因を○で囲みNo.を付すこと）



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	奥州市衣川区田中西 59-1			
資産名	長者ヶ原廃寺跡			
調査周期	毎年 (年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内)			
所在地				
調査者	奥州市教育委員会 世界遺産登録推進室	調査年月日	平成 30 年 11 月 14 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	関連資産内の住宅	ランク 2	景観形成基準内でスカイラインに収まっているが、資産から中尊寺を望んだ時に視界に入る。
	2			
	3			
	4			
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類 (ランク 1、ランク 2) ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
要因数	1 (± 0)			

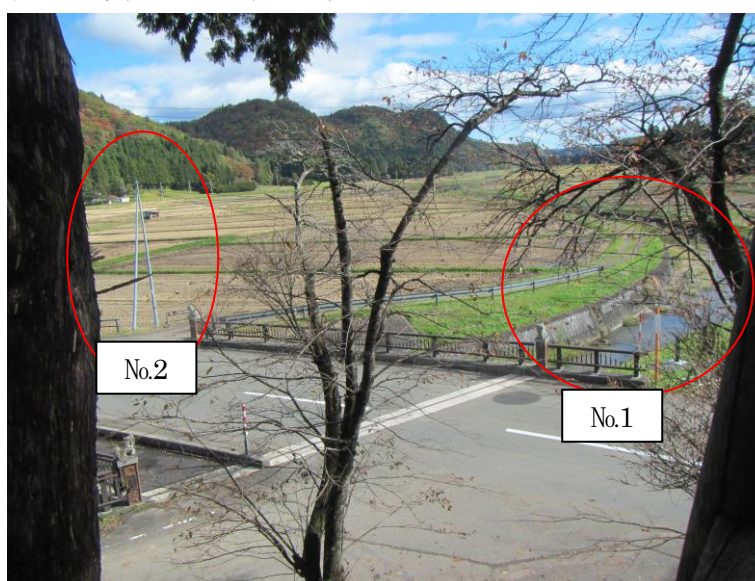
写真添付欄 (阻害要因を○で囲みNo.を付すこと)



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	駒形根神社			
資産名	骨寺村荘園遺跡			
調査周期	毎年 (年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内)			
所在地	一関市巖美町字駒形 地内			
調査者	一関市教育委員会	調査年月日	平成 30 (西暦 2018) 年 11 月 1 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	本寺川護岸	ランク 2	周辺と調和しないコンクリートブロック護岸
	2	電柱及び電線	ランク 2	周辺と調和しない電柱及び電線
	3			
	4			
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類 (ランク 1、ランク 2) ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
要因数	2 (± 0)			

写真添付欄 (阻害要因を○で囲みNo.を付すこと)





様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	要害橋			
資産名	骨寺村荘園遺跡			
調査周期	毎年（年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内）			
所在地	一関市巖美町字要害 地内			
調査者	一関市	調査年月日	平成 30（西暦 2018）年 11 月 1 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	本寺川護岸	ランク 2	周辺と調和しないコンクリートブロック護岸
	2			
	3			
	4			
	5			
事項特記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類（ランク 1、ランク 2） ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況 ※ H29 ガードレール修景工事実施			
要因数	1（-1）			

写真添付欄（阻害要因を○で囲みNo.を付すこと）



様式第 1-a 号

指 標	(1)-a	(1) 資産の視覚的結びつきの保護 a) 視点場における景観を阻害する要因数		
測定の内容	設定された視点場においてカメラにより定点撮影を行い視界に入り込む阻害要因を測定する。			
調査場所	慈恵塚			
資産名	骨寺村荘園遺跡			
調査周期	毎年（年 1 回 11 月 1 日～14 日までの 2 週間内）			
所在地	一関市巖美町字下真坂 地内			
調査者	一関市	調査年月日	平成 30（西暦 2018）年 11 月 1 日	
景観阻害要因の特定	No.	阻害要因	分類	具体的状況
	1	なし		
	2			
	3			
	4			
	5			
事項記	※ 分類→阻害の程度に応じて分類（ランク 1、ランク 2） ※ 具体的状況→形状、色、大きさなど阻害している状況			
要因数	0（±0）			

写真添付欄（阻害要因を○で囲みNo.を付すこと）

